

主題：信者

メッセージ 45

彼らの現在——神に仕え、礼拝し、神のために働き、労することにおいて神聖な三一の分与を経験する  
聖書：ヨハネ 4:23-24. ローマ 1:9. I コリント 3:12. 15:10, 58; 16:10; II コリント 1:8-9; 4:7

**I. 新約に啓示されている信者に関係のあるすべての要求のために、わたしたちは手順を経た三一の神の分与を通して、神聖な供給を受ける必要があります——ヘブル 4:1. ローマ 5:17, 21. 民 6:1-8, 22-27. II コリント 13:14。**

**II. わたしたちは神に仕え、礼拝することにおいて神聖な三一の分与を経験します——マタイ 4:9-10：**

A. 新約において、神に仕えることは、実は神を礼拝することと同じです——9-10 節. 雅 1:2. 参照、詩 2:11-12：

1. 神を礼拝するとは、霊の中で、ささげ物の実際としてのキリストをもって神と接触し、神を飲むことです——エレミヤ 2:13. ヨハネ 4:10, 23-24. I コリント 12:13。
2. 神を礼拝するとは、神を満喫することによって神を享受することです——申 12:5-7. I コリント 5:8。
3. 神を礼拝するとは、神との交わりの中で神を愛することです——マルコ 12:30. I ヨハネ 1:3。
4. 神を礼拝するとは、その霊によって歩き、わたしたちの元気づける愛また激励する命としてのキリストを享受することによって神を元気づけることです——士 9:9, 13. 詩 104:15. ガラテヤ 5:25. マタイ 9:17. II コリント 5:14-15. 雅 1:2. 参照、4:10。

B. わたしたちは「偶像から神に向きを変えて、ひとりの生けるまことの神に仕えるように」になりました——

I テサロニケ 1:9. 使徒 26:18：

1. 神は、わたしたちのわたしたちの日常生活のあらゆる面において、わたしたちに対してまたわたしたちの中で生き生きしていなければなりません。彼はわたしたちの考えや動機のような小さな事柄でさえわたしたちを制御し、わたしたちを方向づけ、わたしたちを矯正し、わたしたちを調整し、わたしたちを取り扱います。——詩 139:23-24. マタイ 5:8. II テサロニケ 3:5。
2. キリストにある信者として、わたしたちが礼拝し、仕える神は、わたしたちの生活の詳細において生きているという証しを生み出す生活を生きなければなりません。わたしたちがあることを言わなかったり、行なわなかったりする理由は、神がわたしたちの中に生きているからであるべきです——ローマ 8:6. 参照、創 2:9。

C. わたしたちは来て神に仕え、神を礼拝するとき、血が清める良心を必要とします。わたしたちの汚された良心は清められる必要があります。それは、わたしたちが命の新しさの中を歩き、霊の新しさの中で仕えるためです——ヘブル 9:14. 10:22. I ヨハネ 1:7, 9. 使徒 24:16. 参照、I テモテ 4:7。

D. 神に仕え、礼拝するとは、命の新しさの中を歩くことであり、霊の新しさの中で仕えることです——ローマ 6:4. 7:6. 参照、エゼキエル 36:26-27。

E. わたしたちは、わたしたちの霊の中で、御子の福音において神に仕え、礼拝します——ローマ 1:9：

1. 福音において神に仕えるとは、すべてを含むキリストにおいて彼に仕えることです。なぜなら、福音はキリストご自身にほかならないからです——使徒 5:42. ローマ 1:1-4. 8:29. 15:16。
2. 神の御子の福音を宣べ伝えるために、わたしたちはわたしたちの再生された霊の中にいなければなりません (1:9)。わたしたちが何であれ (2:29. 8:5-6, 9)、わたしたちが何をもちようと (10, 16 節)、わたしたちが神に対して何を行なおうと (1:9. 7:6. 8:4, 13. 12:11)、わたしたちの霊の中でなければなりません。
3. パウロは彼の再生された霊の中で、内住のキリスト、すなわち、命を与える霊によって神に仕えたのであって、彼の魂の中で、魂の力と能力によってではありません。
4. わたしたちは、わたしたちを照らす主の光を必要とします。それはわたしたちが、わたしたちの天然の性質、資格、能力、知性に何の信頼も持たないためです。そのとき初めて、わたしたちは、わたしたちの信頼が完全に主の中にあることを証しすることができるようになります。わたしたちはこのように照らされた後、わたしたちの霊の中で、またその霊によって真に神に仕え、真に神を礼拝するようになります——7-8 節。

**III. わたしたちは、主のために働き、労することにおいて、神聖な三一の分与を経験します——I コリント 3:12. 15:10, 58. 16:10:**

A. わたしたちが主のために働き、労することは、天然の命と天然の能力によるのではなく、復活の命と復活の力としての霊なるキリストによります——民 17:8. I コリント 15:10, 58:

1. わたしたちが天然の命によって生きるのではなく、わたしたちの内側の神聖な命によって生きるとき、わたしたちは復活の中におり、この結果はキリストのからだとなります——ピリピ 3:10-11。
  2. 金の燭台は、キリストのからだとしての召会を予表しており、また成長し、枝を伸ばし、芽を出して、開花する復活の命としてキリストを描写していて、光を輝かし出します——出 25:31-40. 民 17:8. 啓 1:11-12. マタイ 5:14. イザヤ 60:1, 5。
  3. 復活を知っている人はみな、彼ら自身の中にある望みを放棄しました。彼らは、彼らがそれを行なうことができないことを知っており、死に属するあらゆるものはわたしたちに属し、命であるあらゆるものは主に属していることを知っています——Ⅱコリント 1:8-9. 参照、伝 9:4。
  4. わたしたちは、わたしたちが無であり、何も持たず、何も行なうことができないことを認めなければなりません。わたしたちは自分自身を終結させて、わたしたちは徹底的に役に立たないという確信を持たなければなりません——出 2:14-15. 3:14-15. ルカ 22:32-33. I ペテロ 5:5-6。
  5. 命を与える霊は復活の実際です。復活したキリストは命を与える霊としてわたしたちの中に住み、わたしたちが自分自身の中で決して行なうことのできなかつたことを行なうことができるようにします——I コリント 15:10, 45 後半. Ⅱコリント 4:7-18。
- B. わたしたちが主のために働き、労することは、新約の信仰の養う言をもって聖徒たちにキリストを命として供給することです——I テモテ 4:6. Ⅱコリント 3:3, 6. 詩 45:1-2:
1. わたしたちはまずキリストで養われなければなりません。そうして、わたしたちは、キリストを他の人に供給する命の供給として持つようになります——I テモテ 4:6. I ペテロ 4:10-11. I テサロニケ 2:7-8。
  2. わたしたちが他の人にキリストを供給することは、全き純潔をもって、また知恵を尽くしてであるべきです——I テモテ 5:1-2. 歴代志下 1:10. コロサイ 1:28-29. 2:2。
- C. わたしたちは神、すなわち、神の性質、神の願い、神の方法、神の栄光にしたがって、神の群れとしての聖徒たちを牧さなければなりません——使徒 20:28. I ペテロ 5:1-6. 参照、マラキ 3:14。
- D. わたしたちは、金、銀、宝石としての手順を経た三一の神の経験をもって召会を建造します——I コリント 14:4 後半, 12. 3:12. 参照、雅 1:10-11。
- E. 信者たちは祈りと断食とをもって主のために働き、労します——マタイ 17:21. 使徒 1:14. 6:4. 13:2:
1. 断食の真の意味は、主イエス以外のすべてのものを食べることをやめ、彼以外のあらゆるものに対する味わいを持たないことです——マタイ 5:6. ルカ 1:53。
  2. わたしたちの神に対する祈りは、キリスト、神の王国、神の永遠のエコノミーにおける目標としての神の家に向けられるべきです——列王上 8:48. ダニエル 6:10。
- F. 主のために働き、主のために労する信者たちは、義人の復活の日に再臨する主によって報償を受けます——I コリント 3:14. マタイ 24:45-47. 25:21-23. ルカ 14:14。